

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名		だれもがいいき幸せに暮らせるまち		施策番号・名		16 保健医療の推進とスポーツの振興		基本事業番号・名		16-05 長寿医療制度の安定		改革・改善の余地		改革・改善の余地を踏まえた平成23年度以降に向けた事務事業の方向性(所管課長記入欄)			
事務事業番号	所管課係名	事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)	対象指標(対象の数値指標化)		活動指標(手段の数値指標化)		成果指標(意図したことの結果の数値指標化)		事業費(実績額)①(千円)	人件費(理論値)②(千円)	トータルコスト①+②(千円)	改革・改善の余地(目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた平成23年度以降に向けた事務事業の方向性(所管課長記入欄)			
	事務事業名		指標	実績値(単位)	指標	実績値(単位)	指標	実績値(単位)				選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
16-05-01	保険年金課 高齢者医療係	対象	75歳以上で、20年3月まで、医療保険に加入していた市民	平成21年度	9,570(人)	平成21年度	70(件)	平成21年度	100(%)	8,573	1,181	9,754	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	老人医療費給付事業	手段	医療機関または対象者から請求された医療費を給付する	平成20年度	9,570(人)	平成20年度	32,898(件)	平成20年度	90(%)	613,982	1,157	615,139	22年度以降に向けた方向性	縮小	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	所管課長名: 保険年金課 菅原 信
		意図	対象者の医療費の負担感を軽減する	平成19年度	9,570(人)	平成19年度	315,331(件)	平成19年度	85(%)	7,441,496	14,889	7,456,385	23年度以降に向けた方向性	縮小	老人保健法に基いて実施しており、事業の内容は変更できない。20年5月からは、それまでの過誤、再審査分のみとなり、件数、金額ともに大幅に減少しており、22年度以降も減少していくことが予想される。		予算においても老人保健特別会は22年度は清算年度としている。事務処理も、改革・改善の余地に記述しているとおりであり、縮小の方向である。
16-05-02	保険年金課 高齢者医療係	対象	医療機関等から請求のあった診療報酬明細書	平成21年度	32,898(件)	平成21年度	92(件)	平成21年度	91(%)	7	4,541	4,548	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	老人医療費適正化推進事業	手段	診療報酬明細書の受給資格と請求内容を審査して不適切な請求は医療機関等に返戻し、第三者行為、不当・不正請求に係る返還請求を行う。	平成20年度	32,898(件)	平成20年度	2,802(件)	平成20年度	74(%)	4,596	4,450	9,046	22年度以降に向けた方向性	縮小	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	所管課長名: 保険年金課 菅原 信
		意図	不適切・不当・不正な請求を発見し、医療費の適切な支出を行う。	平成19年度	315,331(件)	平成19年度	15,000(件)	平成19年度	70(%)	9,045	7,987	17,032	23年度以降に向けた方向性	縮小	20年5月からは、それまでの過誤、再審査分のみとなり、件数、金額ともに大幅に減少しており、22年度以降も減少していくことが予想される。		予算においても老人保健特別会は22年度は清算年度としている。事務処理も、改革・改善の余地に記述しているとおりであり、縮小の方向である。
16-05-03	保険年金課 高齢者医療係	対象	長寿医療制度被保険者	平成21年度	11,032(人)	平成21年度	11,032(人)	平成21年度	100(%)	14,755	9,083	23,838	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	長寿医療制度資格管理事業	手段	後期高齢者医療被保険者資格の異動、被保険者証の交付・再交付、標準負担額減額認定、特定疾病認定、年度更新、基準収入額適用申請認定等を行う。	平成20年度	10,396(人)	平成20年度	10,396(人)	平成20年度	100(%)	15,274	8,899	24,173	22年度以降に向けた方向性	現状維持	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	所管課長名: 保険年金課 菅原 信
		意図	医療機関で診療を受ける際に、被保険者証等を適切に使用してもらう	平成19年度	(人)	平成19年度	(人)	平成19年度	(%)			0	23年度以降に向けた方向性	現状維持	高齢者医療確保法に基づき実施しており、事業の内容は変更できない。		高齢者医療確保法において、地方公共団体は住民の高齢期における医療に要する費用の適正化を図るための取組及び高齢者医療制度の運営が適切かつ円滑に行われるよう所要の施策を実施するとされており、引き続き資格管理事業を行っていく。
16-05-04	保険年金課 高齢者医療係	対象	長寿医療制度被保険者	平成21年度	11,032(人)	平成21年度	11,032(件)	平成21年度	100(%)	1,421,982	7,720	1,429,702	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	長寿医療制度給付適正化事業	手段	対象者から請求された高額医療費及び療養費の支給申請書の受付をするとともに振込口座の管理を行い、広域連合から支給できるようにする。	平成20年度	10,396(人)	平成20年度	10,396(件)	平成20年度	100(%)	1,325,945	7,720	1,333,665	22年度以降に向けた方向性	現状維持	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	所管課長名: 保険年金課 菅原 信
		意図	被保険者が、いつでも適切な医療を受けられる	平成19年度	(人)	平成19年度	(件)	平成19年度	(%)			0	23年度以降に向けた方向性	現状維持	高齢者医療確保法に基づき実施しており、事業の内容は変更できない。		高齢者医療確保法において、地方公共団体は住民の高齢期における医療に要する費用の適正化を図るための取組及び高齢者医療制度の運営が適切かつ円滑に行われるよう所要の施策を実施するとされており、引き続き給付適正化事業を行っていく。
16-05-05	保険年金課 高齢者医療係	対象	長寿医療制度被保険者	平成21年度	11,032(人)	平成21年度	11,032(件)	平成21年度	100(%)	130,985	12,716	143,701	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	長寿医療制度賦課適正化事業	手段	法令等に基づき、長寿医療制度被保険者の賦課資料をもとに賦課する。必要に応じ所得調査、未申告調査等を実施し、適正な賦課に努める。	平成20年度	10,396(人)	平成20年度	10,396(件)	平成20年度	100(%)	130,985	12,716	143,701	22年度以降に向けた方向性	現状維持	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	所管課長名: 保険年金課 菅原 信
		意図	被保険者に対し、適正に保険料を賦課する。	平成19年度	(人)	平成19年度	(件)	平成19年度	(%)			0	23年度以降に向けた方向性	現状維持	高齢者医療確保法および関係法令に基づき、実施しており、適正に賦課している。		保険料は22年度に改定されたところであるが、23年度も引き続き、高齢期における医療に要する費用の適正化を図るため、賦課適正化事業を行っていく。

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名 だれもがいいきき幸せに暮らせるまち

施策番号・名 16 保健医療の推進とスポーツの振興

基本事業番号・名 16-05 長寿医療制度の安定

事務事業 番号	所管課係名 事務事業名	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)		対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の 数値指標化)		事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)					
				指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)				
16-05-06	保険年金課 高齢者医療係	対象	長寿医療制度被保険者	平成21年度	11,032 (人)	平成21年度	115 (人)	平成21年度	55 (%)	平成21年度	171	平成21年度	182	平成21年度	353	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	長寿医療制度保健事業	手段	契約している保養施設及び入浴施設の利用者に補助を行う。	平成20年度	10,396 (人)	平成20年度	62 (人)	平成20年度	50 (%)	平成20年度	58	平成20年度	178	平成20年度	236	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持	
		意図	被保険者の健康の保持、増進を図る	平成19年度	(人)	平成19年度	(人)	平成19年度	(%)	平成19年度		平成19年度		平成19年度		0				
			後期高齢者医療制度被保険者数(22年3月末時点)				保養施設、元気回復施設利用券申請者数									22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 保険年金課 菅原 信		
																			20年度は10月より事業開始、21年度は保養施設利用申請者が40名、元気回復施設利用申請者が24名の増加。健康の保持という目的や国保被保険者との公平性の観点から事業の継続は必要と思われる。	改善の余地は全くないわけではないが、利用者の増加が見られるところであり、当面は改革・改善の余地記述のとおり取り組みたい。